

加納一郎 いかな いちろう 著述家。明治二十一年七月十九日大阪生れ、昭和五十一年歿（一九六八—一九七七）。筆名森昭一。大正十一年北海道帝國大學農學部林學科卒。大阪朝日新聞社編輯局、日本林業技術協會勤務。

著譯書『氷と雪』（昭和四年十一月十日梓書房）、『極地集誌』（昭和十七年十月）『日朋文堂』、ロヤルト・ヤムンゼン著『ヤムンゼン探検誌』（譯、昭和十七年一月）『日朋文堂』、『樺火—山小産隨筆集』（公暮・高須茂編、昭和十七年二月一日朋文堂）、『山岳研究講座・I』（公暮・日本山岳會編曲文部編、昭和十八年一月十五日朋文堂）、『氷雪圏の記録』（昭和二十一年五月）『日朋文堂』、『山岳叢書』、『未踏への誘惑』（五十人の極地探検家）（昭和二十一年二月一日朋文堂）、若林功著『北海道開拓秘録』全四冊（改定、1・昭和二十九年四月二十日、2・七月二十日、3・十月二十日、4・四十年二月二十五日時事通信社「時事新書」）、『極地探検（未踏への挑戦者たち）』（昭和四十五年一月）『日朋文堂』、『現代教養文庫』、『五十人の極地探検家—未踏への誘惑』（北村泰一解説、平成四年十一月一日朝日新聞社）等。

